

戦略的プロジェクト研究推進事業

「畑作物生産の安定・省力化に向けた湿害、雑草害対策技術の開発」

研究概要図

中課題番号 (e-Radシステム課題ID)	19190959
中課題名 (契約課題名)	畑作物生産の安定・省力化に向けた湿害、雑草害対策技術の開発

研究実施期間	令和元年度～令和5年度（5年間）
代表機関	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 (九州沖縄農業研究センター)
研究開発責任者	原 貴洋
研究開発責任者 連絡先	TEL : 096-242-7872
共同研究機関	井関農機株式会社 全国蕎麦製粉協同組合 株式会社そば研 宇都宮大学 北海道立総合研究機構 北海道空知総合振興局 三重県 株式会社バイオファーム 鳥根県東部農林振興センター
普及・実用化 支援組織	

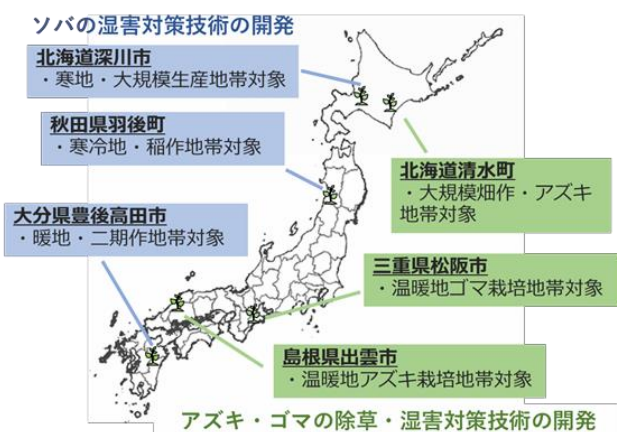
農林水産省内 本事業担当	政策統括官付地域作物課 代表：03-3502-8111（内線4841）
-----------------	--

< 研究概要図 >

公募研究課題名 畑作物生産の安定・省力化に向けた湿害、雑草害対策技術の開発

目的

○ソバは全国で広く栽培される転作作物であるが、降雨や排水不良がもたらす湿害により収量が極めて低い状況にある。そのため、主産地である寒地、寒冷地、暖地の現場ニーズを反映し、すぐに使えるリスク回避アプリケーションの開発と新しい栽培技術の体系化が必要。
○アズキとゴマは地域の振興と輪作に不可欠な品目であるが、難防除な雑草や湿害が蔓延し作業負担を軽減する技術が必要。

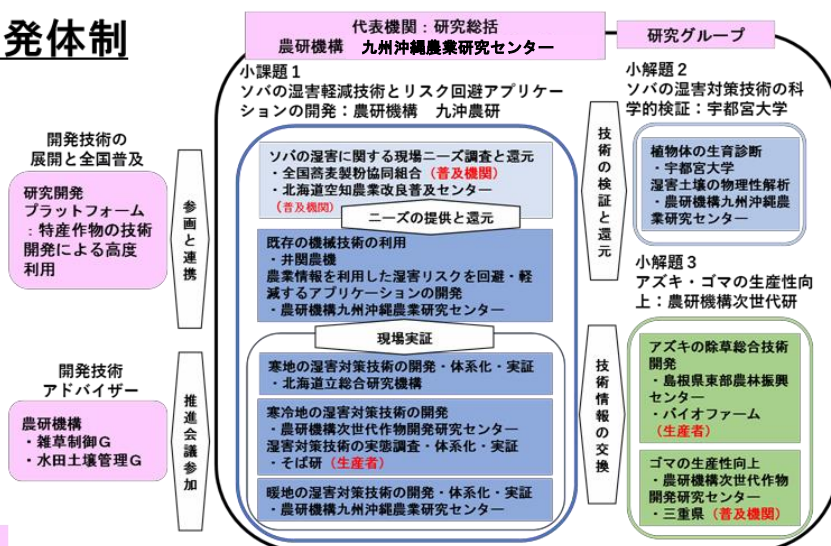


全国で現場実証



技術開発のフロー

開発体制



目標

1. 湿害リスクを回避できる生産者用のアプリケーション
2. 地域に適したソバの湿害を軽減し収量を2割向上できる技術
3. アズキ・ゴマの除草を軽減し労働時間を2割軽減できる技術

効果

1. 全国の地域の畑作物の農業生産性が向上し、地域産業や農地利用の活性化
2. 国民への高品質な国産農産物の安定的な供給